

あなたと私の人生学

「がんと共に生きる～命をつなぐ愛に支えられて～

患者・家族・遺族として」

「がんの患者・家族・遺族として病気と向き合う」

がんの患者・家族・遺族として長い間がんという病気と向き合い、様々なことを体験し、その中で大切なことに気づくことができた。自身の病気が小康状態を得てから、少しずつ社会復帰に取り組み、やがて今がんと向き合っている人に寄り添いながら、医療と社会への恩返しの活動を続けている。自分の体験をもとに「命の大切さ」や「人と人が支えあうことのすばらしさ」について伝えたい。



《講師プロフィール》

2002年5月急性骨髄性白血病発症。ドナーが見つからず、自家末梢血幹細胞移植を受けるが、2006年3月再発。9月、非血縁者間同種骨髄移植を受けるも、長年支えてくれた夫の急死のショックから、2007年1月再・再発。5月臍帯血移植を受け、様々な GVHD (移植片対宿主病) に苦しみながら2008年3月ようやく退院、数年間の自宅療養で少しずつ体力・気力が回復に向かう。小康状態を得た2009年11月『岡山造血細胞移植患者会きぼう』を発足、代表に就任。

6/13(土)10:00～11:30

講師

岡山造血細胞移植患者会きぼう

代表 山邊 裕子 氏

会場

玉島市民交流センター2階 第2会議室

定員
80名

問合せ:玉島公民館(倉敷市玉島阿賀崎 1-10-1 ☎526-7625)

講演会開始2時間前の時点で「暴風警報」もしくは「特別警報」が発令している場合は中止とします。